



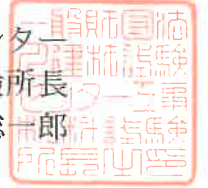
再生路盤材の試験報告書

1/5

受付番号	工試第U-2009080435-202402008159
受付日	2024年 2月20日
発行日	2024年 6月17日

株式会社 杉浦土木 殿

一般財団法人 建材試験センター
工事材料試験所長
芭蕉宮 総一郎



浦和試験室

〒338-0822 埼玉県さいたま市桜区

中島2丁目12番8号

電話番号 048(858)2790

試験監督者 藤巻敏之

1. 試料（依頼者提出の資料による）

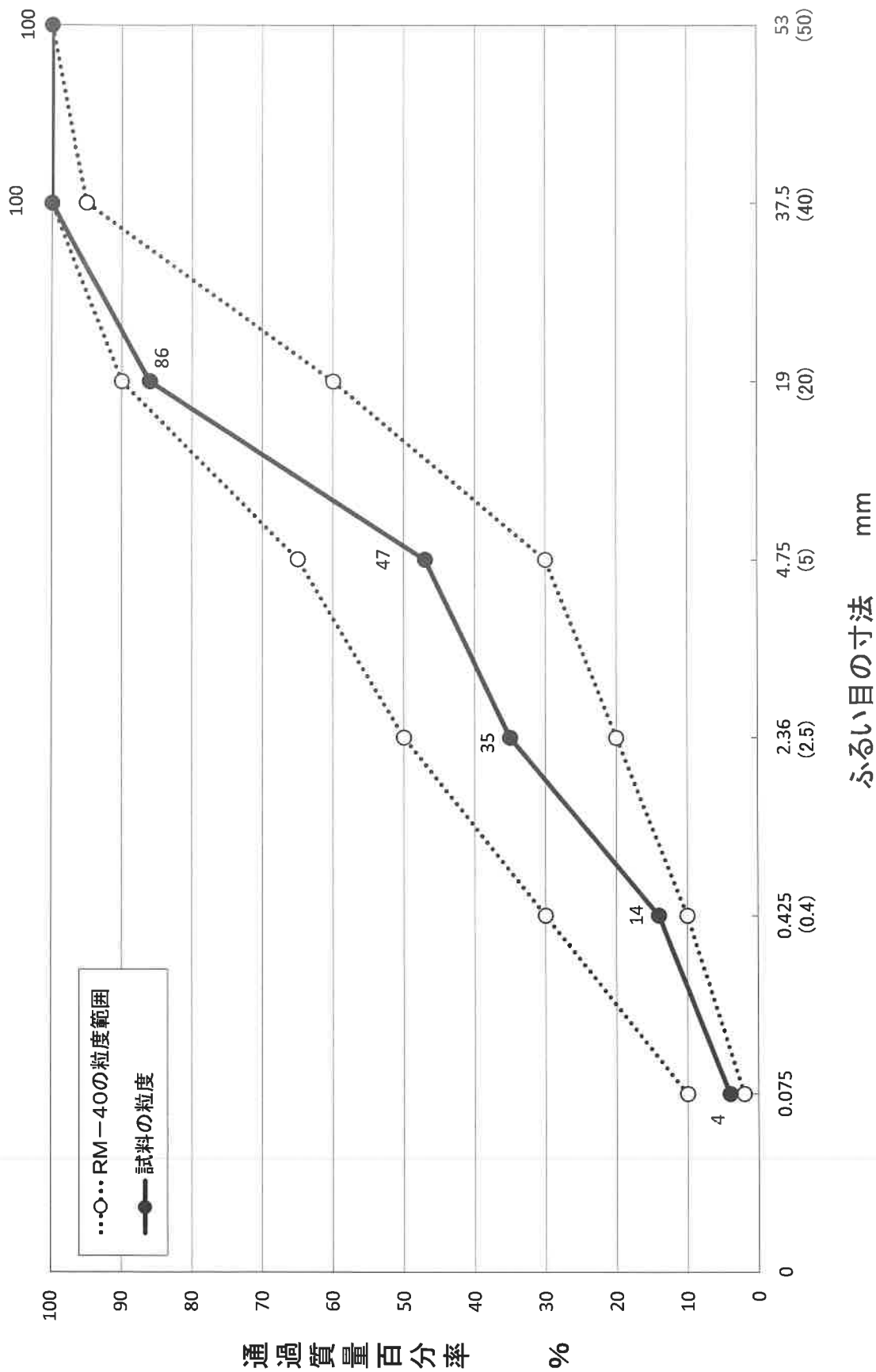
種類	RM-40
製造工場	杉浦リサイクルセンター
採取日	2024年 2月16日
用途	路盤材等

2. 試験内容

試験方法	JIS A 5001 道路用碎石 5.2 粒度試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.3 絶乾密度及び吸水率試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.4 すりへり減量試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.5 塑性指数 アスファルトコンクリート混入率は、再生処理材を5mmふるいでふるい分け、残留した試料からアスファルトコンクリートを目視によって選別し、質量比で示した。 (公社)日本道路協会 “舗装調査・試験法便覧” E001 ①修正CBR試験方法
試験期間	2024年 3月 1日～ 6月12日
試験場所	浦和試験室
試験担当者	塩崎洋一・日詰康志・佐島 淳

3. 試験結果

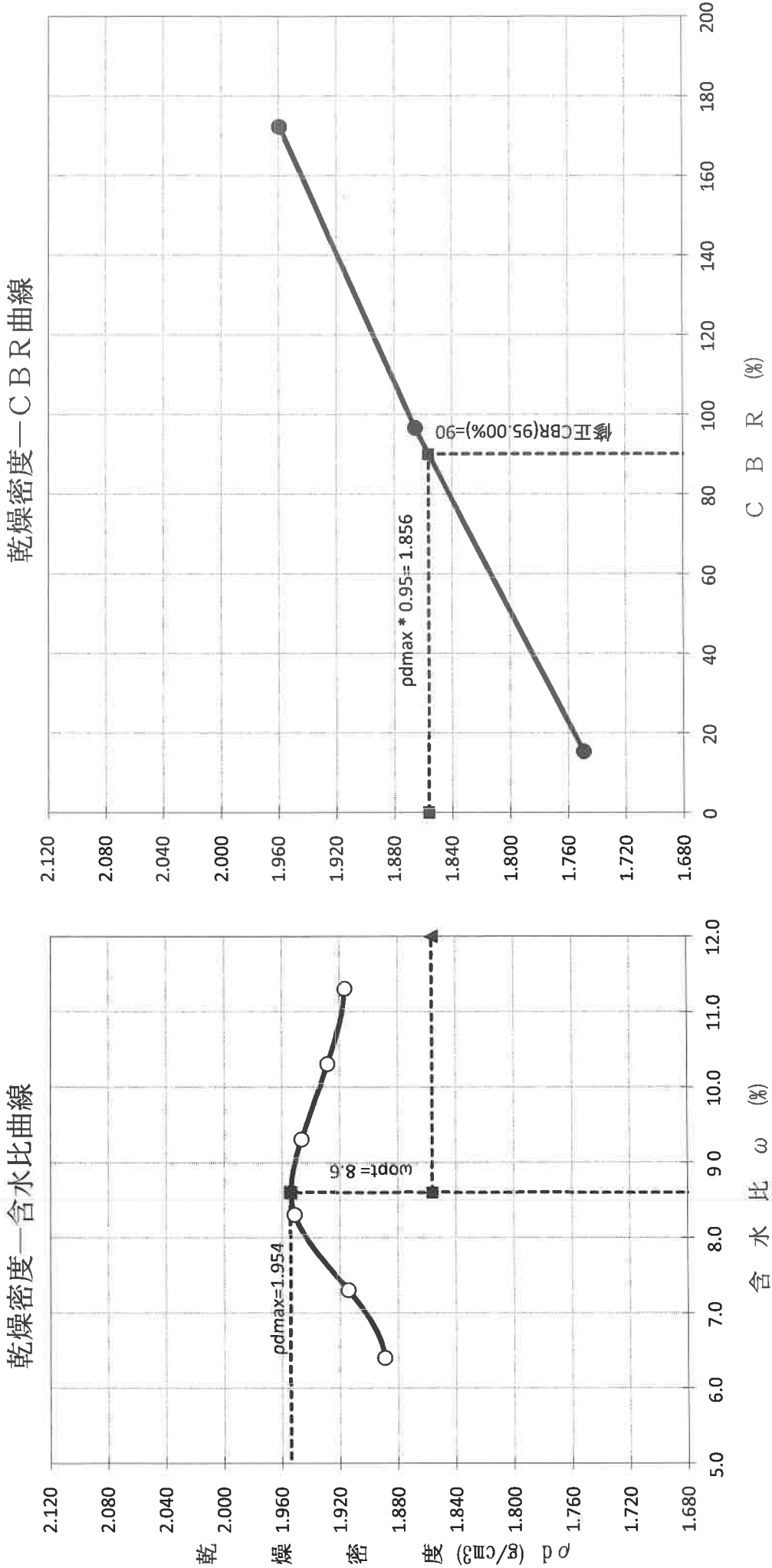
粒度試験							
※1	通過質量百分率 %						
ふるい目の寸法 mm	53 (50)	37.5 (40)	19 (20)	4.75 (5)	2.36 (2.5)	0.425 (0.4)	0.075
測定値	100	100	86	47	35	14	4
※2 規格範囲	100	95~100	60~90	30~65	20~50	10~30	2~10
備考	※1 ()内は各ふるい目の公称寸法 ※2 RM-40の規格粒度範囲 粒度試験結果（粒度曲線）を図-1に示す。						



図一1 粒度試験結果

試 験 項 目		1	2	平 均
密 度 g/cm^3	表 乾	2.49	2.50	2.50
	絶 乾	2.38	2.39	2.39
吸 水 率	%	4.56	4.69	4.63
す り へ り 減 量	%	25.3		
塑 性 指 数 (P. I)	液性限界 ※1 %	NP		
	塑性限界 %	NP		
	塑性指数 ※2	NP		
アスファルトコンクリート混入率	%	2.5		
備 考	※1 試験結果においてその性状が認められない場合は、NP (non-plastic) とする。 ※2 液性限界若しくは塑性限界が求められないとき、又は液性限界と塑性限界に有意な差がないときは、NPとする。			

修正 C B R 試験										
共通項目	試料の準備方法					乾燥法				
	試料の使用方法					非繰返し法				
最適含水比 測定試験 92回/層 (3層)	平均含水比	6.4	7.3	8.3	9.3	10.3	11.3			
	%									
	乾燥密度	1.889	1.914	1.951	1.946	1.928	1.916			
	g/cm ³									
	最適含水比 %					8.6				
	最大乾燥密度 g/cm ³					1.954				
C B R 試験	突固め回数	番号	乾燥密度	4日水浸後の		C B R 値				
			g/cm ³	吸水膨張比		(2.5mm貫入時)				
				%		%				
	92回/層(3層)	1		1.963	-0.01		157			
		2		1.961	-0.02		215			
		3		1.954	-0.01		145			
		平均		1.959	-0.01		172			
	42回/層(3層)	1		1.862	-0.02		117			
		2		1.872	-0.01		85			
		3		1.862	0.00		88			
		平均		1.865	-0.01		97			
	17回/層(3層)	1		1.732	-0.01		13			
		2		1.745	-0.01		14			
3			1.771	0.00		19				
平均			1.749	-0.01		15				
	修正 C B R % ※		90							
備考	※ 最大乾燥密度の95%の時の値。 乾燥密度-含水比曲線及び乾燥密度-CBR曲線を図-2に示す。									



圖—2 乾燥密度—含水比曲線及乾燥密度—CBR曲線

再生路盤材 規格表

【本表は簡略的に規格値を記したものであり、詳細については必ず各仕様書でご確認下さい。】

名称			再生クラッシャーラン(再生砕石)			再生粒度調整砕石			再生砂														
主な用途			下層路盤材			上層路盤材			埋戻し用														
呼び名 (粒度範囲)			RC-40 (40~0)	RC-30 (30~0)	RC-20 (20~0)	RM-40 (40~0)	RM-30 (30~0)	RM-25 ※3 (25~0)	RC-10 (東京都)	RC-10 (神奈川県)	— (埼玉県)												
通過質量百分率 (%)	53 mm (50)		100			100																	
	37.5 mm (40)		95~100	100		95~100	100																
	31.5 mm (30)			95~100			95~100	100															
	26.5 mm (25)				100			95~100															
	19 mm (20)		50~80	55~85	95~100	60~90	60~90																
	13.2 mm (13)				60~90			55~85		100													
	9.5 mm (10)								90~100														
	4.75 mm (5)		15~40	15~45	20~50	30~65				50~90													
	2.36 mm (2.5)		5~25	5~30	10~35	20~50				30~70													
	1.18 mm (1.2)		/			/				20~50													
	600 μm (0.6)									10~35													
	425 μm (0.4)								10~30				5~30										
	300 μm (0.3)											3~25											
	150 μm (0.15)											0~15											
75 μm (0.075)		2~10								50未満	0~10	50未満											
表乾比重			/			/			/														
すりへり減量 (%)												東:40以下			東を除く:50以下			東を除く:50以下					
塑性指数PI			6以下			東を除く:6以下			4以下			東を除く:4以下			(泥を含まず)			神:6以下			(泥を含まず)		
アスファルトコンクリート混入率 (%)			東:50未満			/			東:30未満			/			東を除く:90以上※2			神:30以上					
修正CBR (%)			東:40以上						90以上※2						東を除く:90以上※2			神:30以上					
			国埼神要領千舗さ:30以上※1																				

※1 アスファルトコンクリート再生骨材を含まないものは20以上(神要領を除く)
 ※2 アスファルトコンクリート再生骨材を含まないものは80以上(東, 神要領を除く)
 ※3 東京都建設局 “土木材料仕様書”には項目なし

国:	国土交通省 関東地方整備局 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 国土交通省 関東地方整備局 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工	令和 6年 3月
東:	東京都建設局 “土木材料仕様書” 第1章石材	令和 5年 4月
埼:	埼玉県土木工事共通仕様書 第2仕様書編 第3編土木工事共通編 第1章一般施工 第6節一般舗装工 埼玉県土木工事共通仕様書 第6材料規格編 第12編土木材料規格 第1章石材等 第2章骨材	令和 6年 4月 令和 3年 7月
神:	神奈川県 県土整備局 コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領 神奈川県 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 神奈川県 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第2章一般施工	令和 5年 4月
千:	千葉県 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 千葉県 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第6節一般舗装工	令和 5年10月
舗:	(社)日本道路協会 “舗装再生便覧” 第2章プラント再生舗装工法 2-4再生舗装用材料	令和 6年 3月
さ:	さいたま市 “さいたま市土木実務要覧” 第2仕様書編 第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 さいたま市 “さいたま市土木実務要覧” 第5材料編 第1編土木材料規格 第1章石材等 第2章骨材	令和 5年 4月

(2024年5月確認)

【本表は規格値を簡略的に記したものであり、詳細については必ず各仕様書でご確認下さい。】